

金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2021/10/11号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

雇用統計予想下回るもゴールド上がりず

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



注目の雇用統計、非農業分野雇用者数（Non-farm Payroll）は市場予想の50万人増に対して、19.4万人増と予想を大きく下回る悪い数字でした。ゴールドは素直に反応1762ドルから一時1780ドルまで上昇しましたが、その後急落。一週間の終わりは1757ドル。市場ではこの数字によりテーパリングの変更はないという理解が広がり、株価が上昇、金利も上昇、ドルも買い戻されてゴールドの上昇は元の木阿弥となりました。債務上限引き上げ延期は12月までの合意が議会で到達されたことも、マーケットのリスクオンをサポートしています。しかしFRBが最も重視する雇用の回復が足踏み状態であることはゴールドに対する強気を増やしつつあると感じます。パンデミックによる米国の失業者は2000万人に達しましたが、現在は1300万人が復職しています。しかしここに来てそのスピードの鈍りがはっきりしてきました。失業率は8月の5.2%から9月は4.8%と改善していますが、労働参加率は61.6%に下がっており、多くの労働者が労働市場から離脱していることの裏返しという側面もあり、雇用マーケットの復調はFRBが望むほどには改善していません。またエネルギー市場の価格高騰が、インフレ圧力を増しています。WTI原油は一時7年ぶりに80ドルを越える場面があり、天然ガスも週中の6.7ドルからは下がりましたがまだ5.6ドルと一年前の2倍以上の水準にあります。FRBはインフレ率上昇をパンデミック所以の供給ボトルネックによるtransitory（一時的）なものと主張しており、マーケットもそれをそのまま受け入れているようですが、一時的とはいつまでが一時的なののでしょうか。エネルギー価格の大幅な上昇、素材コストの上昇は、インフレを一時的なものとは思いません。ゴールドが上がらないのであればそれは逆に買いのチャンスではないでしょうか。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクリーマー）をお読み下さい。

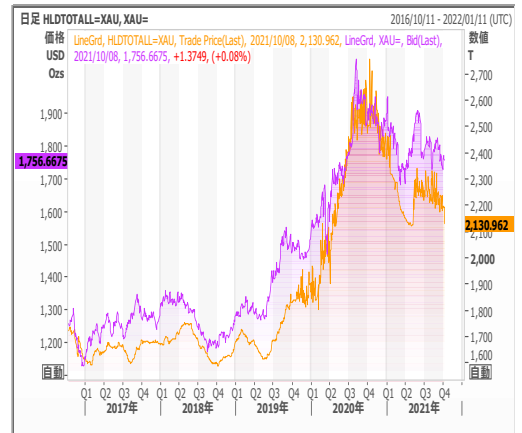
金ETF証拠金取引WEEKLY REPORT

【マーケット・トピック】

ゴールドの需要と供給 (1)

今週からは何回かに渡ってゴールドの「商品（コモディティ）」としてのいわゆるファンダメンタルズに関して書いていこうと思います。まずその1回目は、ゴールドの「供給」に関して。ゴールドはドルやユーロそして円のような世界の国々が自由に発行できる意味での「通貨（カレンシー）」ではありません。その供給の根源は鉱山からの生産です。毎年ゴールドの鉱山生産は3500トン前後あります。これに加えて二次供給（リサイクル）と呼ばれる一度市場に出回った宝飾品や電子機器に含まれるゴールドを再び取り出して供給させるものが1200トン前後あり、近年では「都市鉱山」とも呼ばれています。ゴールドは酸化せず、基本的にそのままの形で残るものであるため、何度でもその形を変えて使うことができます。鉱山生産とリサイクルを合わせたゴールドの年間供給は毎年4500~5000トン前後という規模になります。

ゴールドが他の貴金属との違いとしてあげることができるのは、ゴールドは世界中に存在しているということです。プラチナのように、南ア、ロシアそして北米という特定の地域に偏在していることは対照的だと言えます。過去14年間の世界のゴールド生産国は中国。2020年は368トンでした。ロシア、豪州が続きます。しかし100トン以上の生産国が10カ国以上あり、60年代から70年代は南アが1000トンとガリバー的存在でしたが、現在は100トン。世界中で万遍なく生産されておりゴールドの鉱山生産は非常に安定していると言えます。



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

